高畠町新庁舎建設の町の考え方

* 新庁舎の建て替え計画

現在の役場庁舎は、昭和４３年５月に建てられ、築後５２年が経ちました。

古くなった庁舎は耐震性もなく、大地震などが発生した時には危険で役に立ちません。

このことから、町では国から有利な財政支援を受けながら、新しい役場庁舎を建て替えすることにしました。

そのために、新庁舎に求められる基本的なことをまとめ、建物の設計をする際の指針となるよう基本計画を作るものです。

* 建て替えの基本的な考え方
1. 地震に強い建物にして、防災の拠点となる庁舎
2. 役場庁舎と中央公民館を一体化
3. 国の財政措置を活用して、町の負担を少なくする
4. 新しい庁舎を建てる場所は、今の役場敷地内を予定
5. 機能性を向上させ、維持管理費用を抑える小規模でシンプルなデザイン
* 新庁舎に必要な機能

・基本理念　「町民と環境にやさしく、親しみやすい安全・安心な庁舎」

・基本方針　【１】 安全・安心で防災拠点施設となる庁舎

【２】 町民にやさしく利用しやすい庁舎

【３】 効率的で経済的な庁舎

【４】 地球環境にやさしい庁舎

【５】 町民に親しまれ温かみのある庁舎

* 新庁舎完成までのスケジュール

・令和２年１２月までに基本計画の策定

・令和３年度～令和４年度の２ヶ年で建物の設計

・令和５年度～令和６年度の２ヶ年で建築工事

・令和７年の５月頃　新庁舎オープン